

### “伝統の技”が最新建築に冴える！

大工 弓山さんご一家 (中野甲)



こうした木の特性を深く知り、大工工事を取り仕切っているのは弓山さんご一家です。中心となって作業を進めているの

四国鉄道文化館(仮称)のデザインは非常に現代的で斬新なものです。この建築には古くから伝わっている社寺建築の伝統的な技が各所に活かされています。

例えば、木と木をつなぐところは「木組み」といって、木がはずれないように組み合わせ、さらに「栓」という細くて堅い木を打ち込むことで固定する工法を採用しています。

この建築の特徴として、アーチ状の柱は1本の木を曲げて使用しますが、木は曲げると弓のように戻る力がかかります。そこで、この「栓」で戻ろうとする力を留めているのです。



【上写真】アーチ状の柱を製作する弓山幹雄さん(右)。1本1本丁寧に「栓」が打ち込まれていきます。

【下写真】鉄道文化館の内観イメージ図

伝統職人の造る現代的なデザインが、西条市の誇れるまちづくりにつながっていくと思います。

は幹雄さん(27歳)で、お父さんの桂太郎さん(52歳)と共に、おじいさんの博通さん(77歳)に手ほどきを受けながら作業を進めています。博通さんは「最近では木組み仕事は少なくなりました。若い職人たちに伝統の墨付けや木組みなどを伝授できることがうれしい」と話しています。幹雄さんは「今回の仕事で、祖父から曾祖父の大工道具を譲り受けた。丸太の仕事は初めてだが、日々学ぶことがあって楽しい。これからも伝統的な仕事があればやってみたい」と話しています。

## うみまるの海知識 Q&A

Q: 瀬戸内海では島はいくつあるのでしょうか？  
西条市に一番近い島はどこかなあ？

A: 島の定義では、島とは自然に形成された陸地であり、水に囲まれた高潮時においても水面上にあるものをいいます。(国連海洋法条約第121条)

海上保安庁では、この定義に基づいて海図を作成しています。

ちなみに、外周が100m以上の島は、瀬戸内海では広島県142、愛媛県133、山口県127、香川県112、岡山県87、兵庫県57、和歌山県41、徳島県24、福岡県6、大分県3、の合計727島(2県に重複する5島を除いた数)あります。(昭和61年海上保安庁調査)

外周が100m未満の小さな島を含めると、もっと多くなります。

西条市に一番近い島は、今治市の平市島(へいちじま)があります。



海上保安庁  
マスコットキャラクター  
うみまる



平市島

## かんてんぼうき 観天望気

東予地方の天気に関する  
ことわざ・言い伝え

西あなじ(西北西風)  
わいて命取り



【解説】“禎瑞に伝わることわざ”  
冬、西北西の風は沖の波が立ってきて荒れるので、沖に出てはいけない。陸から見ると海が荒れていて、帰って来れなくなる。